

普及活動検討会実施報告書

(大崎) 農業改良普及センター

実施月日：令和8年2月3日(火)

実施場所：大崎合同庁舎 504会議室

1 検討内容

No	検討項目
1	令和7年度プロジェクト完了課題の実績について(2課題)
2	令和8年度普及指導計画(案)の概要について
3	令和8年度プロジェクト課題(案)について(3課題)
4	総合討議(意見交換)

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	(1)	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	1	マスコミ	
農業関係団体	(1)	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント、評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
【R7完了】 プロ課題No. 2 「加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成に向けた生産技術の確立」	4.7	<ul style="list-style-type: none">寒冷地での栽培が難しい中、マニュアルを作成し、収量を増やしている点が良いと思いました。水不足や鳥獣害など、農業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、これからの頑張りが期待したいです。生産者それぞれに合った栽培指導が行われているのが素晴らしい。栽培技術体系の見える化がとても良いと思った。加美地域におけるさつまいもの産地形成に向けた取組は、着実に進捗していると評価します。全農みやぎにおいては、県内産地の生産・流通拡大に着手しており、今後は加美地域以外での取組も増加していくものと見込まれます。今回の取組を通じて明らかになった課題と、その解決策について引き続き御指導いただくとともに、本取組で得られた情報・経験を地域内にとどめず、他地域へも展開・共有していただくようお願いします。	<ul style="list-style-type: none">さつまいもの栽培マニュアルについては、加美地域のJAや生産者と協力して作成しているため、まずは加美地域での活用が優先にはなるが、技術を囲い込むものではなく、今後は各地域に合わせてバージョンアップを図り、管内の生産者に広く活用いただけるようにしていきたい。本プロジェクト課題については、令和8年度は重点活動に位置づけ、これまでに得られた知見や技術を活用し、JA等の関係機関と連携しながら継続して栽培技術支援を行っていく。

<p>【R7完了】 プロ課題No. 3 「中山間地農業の核となる農産物直売所の組織運営能力向上」</p>	<p>4.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手の農業者が活躍していて、将来が楽しみになる発表でした。これからは来客数をどのようにして増やしていくか考えていかなければいけないと思うので、引き続きフォローしていただければと思います。 ・若手生産者の育成、株式会社化に期待したい。また、年間を通して売り場が魅力あるものになると良いと思った。 ・プラビラボをはじめとする若手の方々が積極的に関与し、株式会社化や改善計画の策定にむけた取組が着実に進捗していることを評価します。 ・一方で、組合員の減少が出荷量の減少に直結した場合、品薄による集客への影響が懸念されます。株式会社化に向けた取組と併せ、出荷量の確保や供給体制の維持・改善についても、必要に応じた指導・支援を行うことが重要と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト課題については、令和8年度は重点活動に位置づけ、引き続き加美町等の関係機関と連携し、出荷物の品質向上、売れる加工品の開発、イベント開催など、来客数及び販売金額の向上にむけた各種支援を行う。 ・あわせて、令和9年度中の株式会社化と、若手組合員の育成（世代交代）が円滑に進むよう、専門家派遣事業なども活用しながら、適切な助言指導を行っていく。
<p>【R8継続】 プロ課題No. 3 「色麻町の地域計画実現に向けた担い手の経営発展」</p>	<p>4.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乾田直播栽培と移植栽培の比較が分かりやすく、労働時間が大幅に削減できていて、今後が楽しみなプロジェクトだと思いました。 ・若手の新規参入者でも乾田直播栽培に取り組めるようになれば、農業人口を増やすきっかけになるのでは？と感じられる発表でした。 ・2つの法人それぞれに具体的な支援がなされ、成果が見えていることが素晴らしい。 ・農業者の高齢化や担い手不足が進む中、将来的な担い手となり得る集落営農組織を含む法人の存在は、地域農業の維持において非常に重要であると認識しています。これら法人が持続可能な経営体として発展できるよう、新たな技術の習得を含め、引続き御指導をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾田直播栽培は省力化技術として注目されており、今後も一層の普及拡大が見込まれる。令和8年度は乾田直播栽培にスマート農業技術（ドローン防除や営農管理システム等）を組み合わせ、水稻栽培技術のさらなる高度化と省力化を推進する。あわせて、生産者の関心が高かった、小規模でも取り組める乾田直播栽培方法についても検討する。 ・本プロジェクト課題の対象である既存の農業法人については、地域農業の担い手組織の手本となるよう、新規技術や省力化技術の導入等を通して、さらなる経営発展にむけた支援を行う。また、今年度新たに設立された農業法人については、円滑な組織運営や高収益作物の定着に向けた支援を行い、経営基盤の強化を図っていく。

<p>【R8継続】 プロ課題No. 4 「若手農業者の経営発展に向けた水稲乾田直播栽培技術の定着」</p>	<p>4. 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者の経営発展にむけた乾田直播栽培技術の定着支援という、今の時代に必要なプロジェクトだと感じました。スマート農業技術も活用した、今までの経験が物を言う稲作からの脱却、若手も参入しやすい稲作が必要だと思います。 ・地力でこんなに差が出るということが勉強になりました。次年度も期待しています。 ・実証ほでの丁寧な指導が実を結んでいることが分かった。先行している石巻の事例があることは良いと思った。 ・乾田直播栽培は若手農業者を中心に普及が進んでおり、若手の間でデータに基づく経営・栽培管理への理解も深まっていることから、本取組の意義は大きいと評価します。 ・雑草対策については、農研機構を中心に研究が進められ、対応策も一定程度確立されつつあります。一方で、輪作体系や圃場条件に応じた栽培技術の確立は、まさに今後の課題であると認識しており、引き続き、本取組の進展に注目していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地の集積・集約が進む中、乾田直播栽培や営農管理システムは今後必要不可欠な技術になっていくものと考えられる。そのため、若手農業者や農業法人等に対し、本プロジェクト課題の事例や、他地域の優良事例を提示しながら、これら先進技術の普及拡大を図っていく。 ・輪作体系の一つに乾田直播栽培を組み込んだ水田フル活用の確立と、乾田直播栽培による水稲の収量・品質の向上を目指し、引き続き雑草対策や、地力・ほ場条件に対応した栽培管理支援を行う。
<p>【R8新規】 プロ課題 「古川なすの高品質安定生産技術の定着と部会活動の活性化」</p>	<p>4. 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古川なすはブランド化が進んでいて、販路も拡大しているとのことで、高品質・安定生産技術は必要不可欠だと思うので、期待できるプロジェクトだと感じました。 ・栽培技術全般のアップデートが全部会員に確実に広がっていくことに期待したい。 ・宮城県産なすの出荷量の50%を占める「古川なす」は、市場からの評価も高く、「おおさきブランド」として重要な農作物です。近年の気候変動や農業分野における技術革新に対応していく必要性が高いことから、本事業を通じて生産者全体のレベルアップにつながることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内第一位の出荷量を誇る「古川なす」について、高品質安定生産と、さらなるブランド力の向上を図るため、近年の気候変動にも対応した先進技術の普及拡大を進め、J A古川なす部会全体の栽培技術の底上げを支援する。 ・あわせて、持続可能な産地形成にむけ、部会員どうしの連携体制を強化し、ベテラン生産者から新規参入者や若手生産者への栽培技術の継承を進めていく。
<p>その他</p>	<p></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優良事例については、農業者間での共有を進めるとともに、普及・定着につながる取組をお願いします。 ・また、各取組を進める上で、市として実施可能な支援について、必要な事項やお気づきの点があれば御教示ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普及活動において得られた知見や優良事例については、研修会の開催や技術資料の作成・情報発信を通して、管内農業者への周知と普及拡大を図る。 ・普及センターで把握した現場ニーズについては、市町やJ A等の関係機関に適宜フィードバックし、必要な支援策について検討を行うため、関係機関の皆様におかれては、今後も普及センターとの連携をお願いしたい。